

優秀賞

友達100人できるかな？！ 異文化交流ゲーム

松岡 祐結子（高校3年生：兵庫県）

新型コロナウイルスの感染拡大が収まりつつある今日の日本、様々な国や地域の人が日本を訪れ、駅やスーパーなどでも外国人を見かける機会が多くなってきたように感じます。そこで私が今回考えたゲームは、スマートフォンを活用した異文化交流コミュニケーションゲームアプリです。街中で、このアプリを利用している外国人と出会い、話しかけてお互いのQRコードを読み取ると、どんどん白い白地図が国旗の模様塗られていき、ポイントが貯まっていくゲームです。そのポイントでアバターに着せるアイテムや服を買うことができます。アイテムや服は全て世界中の伝統的な服であったり、その国での有名なものなので、ゲームを楽しみながら、海外の文化を知ることができます。また、QRコード交換後はネット上でアバター同士がチャットできるようになり、自動翻訳機能がついているので、言語の違いを気にせず、外国人との会話を楽しめます。たくさんのユーザーとQRコードを交換すればするほど世界地図がカラフルになり、地図上でいろんなアバターと会話できるようになります。このゲームの活用で、日本人と外国人の言語の壁を気にすることなく色々な国の友達を作れるようになり、お互いの文化を理解し合える世の中になればいいなと思っています。